

## バーベキューと灯火採集

暑気払いとしては少し遅い時期にずれこんでしまいましたが、9月7日に念願のバーベキューと灯火採集(採集はしないで写真撮影)を伊豆市の萬城の滝キャンプ場で行いました。バーベキュー参加者10名、灯火採集5名の参加でした。

会場となった萬城の滝キャンプ場は天城山の麓、伊豆市地蔵堂の森林の中にあり、水のきれいなところで、夏には家族連れで賑わいます。

(<http://www.city.izu.shizuoka.jp/form1.php?pid=2545> 電話:0558-83-2654(萬城の滝キャンプ場 管理棟)

キャンプ場にはテントサイトとバンガロウサイトがあります。8月の終わりにバンガロウがかなりの数空いていることを確認してから、伊豆昆の皆様への参加者を募りました。宿泊5名の参加が確認できたのでいざ予約となったわけですが、とき既に遅く「バンガロウは全部塞がりました。キャンセルがでたら用意いたします」との係りのお婆さんの冷たいお言葉。仕方なくテントを一張り予約して当日に備えました。(実は前日になってキャンセルがありバンガロウに泊まれましたが)

当日は、朝10時にキャンプ場に集合して買出し部隊と会場設置部隊に別れ準備となりました。この日の目玉はなんと言っても渡辺さん持参の鹿肉(刺身で食べました)とシシ肉、それから川口さん手作りの“おにぎり”や漬物・野菜でしょう。



今、思い出しながら書いていますがビールや酒も沢山飲んだので細かい記憶は蘇ってきません。ただ、勝倉さん撮影の写真が記憶の糸です。掲載の写真から数メートル離れたところに煮炊き用のカマがあります。腹が膨れたところで原さんとともにギターを持ち出して古い歌を(とくに宮内会長が)唄いました。

食事の片づけをして昼間のみの参加者が帰路に着くと、いよいよ灯火採集の準備です。発電機・誘蛾灯など持ち寄った機材を少しはなれた広場にセットしました。セット中の光景を勝倉カメラマンが撮りました。白布の後ろ側もクヌギの林ですが、前方には更に広いクヌギ林があります。

夜の蝶ならぬ「蛾」が大半であろうことは予想していましたが、川にも近いので卵を抱いたカゲロウの写真が撮れるかな？と気持ちが高ぶります。(実はカメラを家に忘れて(レンズだけ持って)きてしまいました、この時間までに届けて貰いどうにか写真を撮れそうです)。

この灯火採集では写真で撮るだけで、身体を確保する採集はしません。観察後の虫さんたちには電気が消えて暗くなった夜道を静かにお帰りいただきます。



いよいよ周りが暗くなりました。今日は雨に降られないかと心配したくらいで、雲は厚く風も無くて絶好の灯火採集日和です。

最初に飛び込んできたのは「イラガ」のクロシタアオイラガです。そういえば萬城の滝周辺は「毒蛾」の中でもしびれるほど恐ろしい「イラガ」の多いところです。続いて「蛾・ガ・が」殆どが蛾、たまに「他の種類」と飛び込みました。9月とはいってもまだセミが飛んで来るかも？と想着ていましたがセミはゼロ、カゲロウもゼロです。トビケラが少しとカワゲラはゼロ。20時30分頃「甲虫は来ていますか？」と会員の星野さんから心配の電話。甲虫も小さいものだけでクワガタやカブトムシは見えません。着飾った夜の蝶ならぬ蛾のオンパレードとなりました。ページの関係で小さい画像のみで種類の記載ありませんが訪れた方たちの写真を以下に示しますが、写真撮影を嫌って早々と逃げてしまった大型のウスタビガなどもいました。来年はもう少し早期に実施したいと思います。



9月7日萬城の滝灯火採集の主な来訪者を集まってきた順に下表に示します。同じ種類は割愛して名前は分かるもののみ記してあります。写真意外にもオビガ、ヤママユ、キクギンウワバ、ギンボシキンウワバ、クワゴマダラヒトリ、アカヒトリ、ミドリリング、ヒメガムシが確認されました。

		
クロシタアオイラガ	マメキシタハ	ホシアワフキ
		
フトフタオビエダシヤク?	ゴホンダイココガネ♀	キハラゴマタラヒトリ♂
		
	ベニシタヒトリ	マエアカシロヨトウ?
		
アカスジシロケガ	ヒメクビグロクチハ	クロモンドクガ
		
アメバチ亜科SP	アカビロウトコガネ♂	シロホシテントウ
		
キシタハ?	イチジクキンウワバ	マダラツマキリトウ



カマキリモドキSP



ヒメホシカメムシ



ウモンツマキリアツバ



シロモンノメイガ



フチクロノメイガ?



ヒメマダラエダシヤク



マエウスモンキノメイガ



トビイロシマメイガ



ヨツホシホソバ(♀)



ヨスジノメイガ